

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調査書（平成30年度分）

団体名： 舞鶴市

プロジェクト名	「仕事をつくり、安心して働けるようにする」プロジェクト	実施期間	平成30年度	テーマ	地域産業の育成	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>本市は古来から海とともに発展し、戦前は軍港のまちとして、戦後は海上自衛隊の基地のまちとして国策に基づく大きな性格づけがなされてきた。そうした中、本市の特徴である港湾を中心とした人・物・情報の交流拠点としての機能の充実に求められている。</p> <p>また、地域経済活動を活性化させるためには、企業の誘致、既存産業・企業の支援、働く場の確保等、雇用環境の向上と事業活動の安定化を図ることが重要である。そして、後継者不足等により衰退する一次産業や個人商店を活性化させるために、本市が有する豊富な地域資源を最大限に活用することにより、付加価値と魅力を持ったサービスの生産・供給につなげ、市民だけでなく、市外からの集客による消費、市外のマーケットでの消費につなげる等、経済規模の拡大も必要である。</p> <p>「赤れんが」や「海・港」、さらにはユネスコ世界の記憶に登録された引揚記念館収蔵資料や日本遺産に登録された数々の歴史遺産を活用したまちづくりに取り組むとともに、そうした魅力を広く発信することにより、交流人口の拡大を図り、拡大した交流人口の地域内消費を増加させる取組が必要である。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>■日本海側拠点港「京都舞鶴港」を活かした産業の振興 ■「赤れんが」「海・港」を核とした観光産業の振興によるビジネス創出と観光消費の拡大 ■歴史・文化都市創造への取組 ■ものづくりをはじめとする商工業の振興による経済規模の拡大 ■ブランド力の高い農林水産業の振興による経済規模の拡大</p>						
	総事業費（千円）	126,449	本年度事業費（千円）	126,449	交付金額（千円）	34,975	

プロジェクトを構成する事業の平成30年度事業実績（出来高数値等）							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）			
市町村 実施事業	京都舞鶴港を活かした産業振興事業	交付対象事業	クルーズ誘致プロモーションの実施 クルーズ対応事業委託	<ul style="list-style-type: none"> ・舞鶴乗船PRイベント（5回）、啓発物の作成、旅行会社と連携したPR活動（5回）等 ・ふ頭及び西舞鶴駅に特別案内書を設置（23日対応） 			
	特色ある観光ブランドづくり事業	交付対象事業	海軍ゆかりの観光誘客	<ul style="list-style-type: none"> ・海軍ゆかりの港めぐり遊覧船運航（運行日数81日、乗船者数9,956人） ・海自カレールー事業の実施 			
			着地型観光の推進	着地型旅行商品の造成・実施			
			赤れんがハーフマラソンの開催	参加者数：2,328人			
			周遊観光バスの運行	運行日数22日、乗車人数1,558人			
			観光ブランドプロモーションの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・舞鶴観光パブリシティの実施 ・首都圏・京阪神圏でのプロモーション ・インバウンド事業現地プロモーション 			
			食のブランド力向上事業	<ul style="list-style-type: none"> ・舞鶴のさかな提供店マップ4万部発行 ・シェフマッチング後のフォローアップとして、首都圏の著名店に京鯖や丹後とり貝などの食材をサンプル提供 			
	漁村活性化センター施設整備	パーゴラ及び冷暖房設備の整備改修					
	歴史・文化の伝承・発信事業	交付対象事業	文化事業団への補助 文化のまちづくりの推進 芸屋台保存展示施設整備事業 日本遺産の活用 世界記憶遺産を活かしたまちづくり 国際会議等誘致事業 ふるさと応援推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・文化事業団事業費補助金（コンサート、映画上映等5件）、文化振興事業費補助金（アウトリーチ、ワークショップ3件） ・文化のまちづくりの推進：アートスタート 計6回実施（6/21、7/19、9/27、11/13、12/7、3/24）、歴史建造物を活かしたアート展In松尾寺駅（9/28ワークショップ、10/13～12/24展示） ・芸屋台保存施設整備事業交付金（西自治会所有芸屋台及び太鼓櫓収蔵庫新築） ・ウズベキスタン日本人抑留者資料館との引揚資料の交換、中国葫蘆島（日本への引き揚げの出発港）の画家「王希奇」氏の特別絵画展（9/28～12/2）や「引き揚げ」に関するシンポジウム（9/28）を開催し、国際的な学術交流を図る。 ・全国引揚港巡回展の実施、名古屋展（1/8～1/14、入館者数：593人）、鹿児島展（2/13～2/18、入館者数：1,519人） ・ユネスコ世界記憶遺産登録資料の保存処理などを実施 ・「I COM（国際博物館会議）舞鶴ミーティング2018」を開催（参加者172人、事例発表やディスカッションなどを実施） ・舞鶴市の歴史文化を生かしたまちづくりに活用するためふるさと応援寄附金を募り、619件16,525,500円の寄附が寄せられた。 			
	地場産業（商工業）強化事業	交付対象事業	新たな地域消費の創造 中小企業の「稼ぐ力」向上事業 元気産業創出事業 商店街イノベーション推進事業 企業誘致の実現に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街イノベーション推進事業6件 ・がんばる事業者応援事業として創業セミナー開催数3回、延べ20人参加 ・創業・出店への支援14件 ・まいづる逸品創造促進事業への参加11件 ・企業誘致の実現に向けた取組109件 ・円滑な経営支援のための水道大口受給者に対する水道料金補助3件 			
	もうかる一次産業振興事業	交付対象事業	佐波賀だいのブランド化 地域農産物産振興事業 まいづるのさかなPR事業 湾内漁場清掃事業 地元産食材の学校給食利用	<ul style="list-style-type: none"> ・京の伝統野菜「佐波賀だいの」の生産振興 ・地域特産物生産振興事業費補助金（3団体） ・舞鶴のさかなPRのため、大型広報紙への掲載やパンフレット作製等 ・湾内漁場清掃事業：舞鶴湾内の海岸線付近に堆積しているカキ殻、木片等26.1tの回収・処分 ・学校給食における地元産食材の活用（計27校、13,822食） 			
	赤れんがパーク賑わい創出事業	関連事業	赤れんがフェスタの開催など、市民団体等と協働した企画開催の委託経費	赤れんがフェスタ（来場者42,000人）、サマーイベント（来場者61,636人）など			
引揚の史実継承事業	関連事業	引揚の史実を継承するための教育旅行や語り部の育成等に係る委託経費等	<ul style="list-style-type: none"> ・舞鶴引揚記念館への教育旅行誘致（新規受入校10校） ・語り部養成講座の開催（1/26～3/16）全12講座、受講者20名（内中学生6名、高校生1名） 				
海の京都観光推進事業	関連事業	海の京都DMOへの負担金 スポーツトレイル事業推進協議会への負担金	<ul style="list-style-type: none"> 海の京都DMOへの負担金（一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社） ・マーケティング調査 ・旅行商品の造成・販売 ・プロモーション事業 など 				
着地型観光推進事業	関連事業	舞鶴-伊根間を運行する遊覧船及び引き揚げを体感する遊覧船の運航委託	遊覧船引揚コースの運航 80日間、448人乗船				

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名： 舞鶴市

	舞鶴観光ブランドプロモーション	関連事業	引揚の史実に基づく平和学習を中心とする教育旅行の誘致委託	舞鶴引揚記念館、赤れんがパーク、遊覧船への教育旅行の誘致
	6次産業化推進事業	関連事業	アドバイザーの招聘による6次産業化の推進	舞鶴市6次産業化推進アドバイザーを設置し、助言・指導（9事業）、現地学習会を実施（5月28、29日）
	ふるさと舞鶴直送便事業	関連事業	舞鶴の特産品を詰め合わせにした通販事業の確立に向けた取組に対する補助	舞鶴発！海と畑のチャット便（3回発送）
住民協働事業				
住民が取り組む事業				
成果指標①	成果指標の目標数値	クルーズ客船の寄港回数（20回）		成果指標の実績値 (30年12月31日時点) 23回
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由) 中国発着クルーズの寄港回数の増加したため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)
成果指標②	成果指標の目標数値	京都舞鶴港発着クルーズ回数（6回）		成果指標の実績値 (30年12月31日時点) 11回
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由) 日本人をターゲットにした日本海周遊クルーズの定着による。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)
成果指標③	成果指標の目標数値	コンテナ年間取扱量の充実（15,000TEU）		成果指標の実績値 (30年12月31日時点) 13,326TEU
	成果指標の達成状況	○	(左の理由) 背後圏立地の食品製造工場増床による製造食品の輸出入が増加したため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)
成果指標④	成果指標の目標数値	海軍ゆかりをテーマにした観光事業数（10事業）		成果指標の実績値 (31年3月31日時点) 海軍ゆかりの港めぐり遊覧船（運行日数81日、乗船者数10,404人）、海自カレー事業などを実施。
	成果指標の達成状況	○	(左の理由) 本市のメインコンテンツである遊覧船を中心に様々な誘客事業を実施したものの。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)
成果指標⑤	成果指標の目標数値	フィルムコミッション対応件数（50件）		成果指標の実績値 (31年3月31日時点) 問い合わせ43件 撮影：28件（映画2件、テレビ17件、その他9件）
	成果指標の達成状況	○	(左の理由) 問い合わせ案件を丁寧に対応することで業界内の評判につながっている。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)
成果指標⑥	成果指標の目標数値	赤れんがパークの来場者数（500,000人）		成果指標の実績値 (31年3月31日時点) 742,901人
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由) 赤れんがパークにおいて、ブランド力の向上を目的とした複数のイベントプロモーションを実施した結果、目標とする来場者数を大幅に更新することができた。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)
成果指標⑦	成果指標の目標数値	市制度の活用による創業事業所数（20事業所/年）		成果指標の実績値 (31年3月31日時点) 14事業所
	成果指標の達成状況	○	(左の理由) 創業支援等事業計画に基づき商工会議所、地元金融機関と連携して創業支援パネル展を開催するとともに、各種広報紙やホームページなどを活用して制度の周知に努めた。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)
成果指標⑧	成果指標の目標数値	新たな商品開発に取り組む事業所数（30事業所/年）		成果指標の実績値 (31年3月31日時点) 11事業所
	成果指標の達成状況	○	(左の理由) 商工会議所、地元金融機関と連携し、まいづる逸品創造促進事業に取り組むとともに、随時、商品開発、販路拡大に努めた。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)
成果指標⑨	成果指標の目標数値	来街目的の創出による新たな来街者数（12,000人）		成果指標の実績値 (31年3月31日時点) 13,200人
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由) 商店街イノベーション推進事業により、NPO法人や高等教育機関等、多様な主体が連携し、商店街をはじめとするまちなかの賑わいを創出した。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)
成果指標⑩	成果指標の目標数値	京のブランド産品認定件数（累計） (平成30年度：6品)		成果指標の実績値 (31年3月31日時点) 1品（農林分）、2品（水産分）
	成果指標の達成状況	△	(左の理由) 佐波賀だいは、生産振興及び安定した流通の確保を継続して支援する。育成岩がき及び京鮭について、産地へのフードツーリズムのPR活動を支援しており、申請主体となる漁協が申請を検討している。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)
成果指標⑪	成果指標の目標数値	間伐材搬出量 (平成30年度：4,500m ³)		成果指標の実績値 (31年3月31日時点) 2,190m ³
	成果指標の達成状況	△	(左の理由) 効果的に間伐施業できる事業地の確保及び搬出材積の増加を支援する。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名： 舞鶴市

<p>本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果</p> <p>※未達成の場合も効果を記載すること</p>	<p>京都舞鶴港発着クルーズや赤れんがパークの来場者数は目標を上回る成果を出しており、京都舞鶴港を活かした産業振興事業でのPRや歴史・文化の伝承・発信事業でのイベント企画・拠点整備等の取り組みによる効果があった。来街者数の増加が課題となっていたが、多様な機関との連携等により来街者数の増加が図れたため、今後も引き続き取組みを継続することが必要である。</p> <p>また、地場産業の強化事業により、新規創業や新商品開発は着実に成果を上げている一方、もうかる1次産業の確立に向けた事業展開が必要である。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p>	
<p>本プロジェクトに対する自己評価</p>	<p>関連事業との連携効果</p>	<p>地方創生推進交付金を活用し、観光拠点である赤れんがパークや引揚記念館の集客力アップや、海の京都DMOと連携した観光事業の展開により、観光客増に成果があった。</p>
	<p>府と市町村等との連携に資する成果</p>	<p>京都府及び一般社団法人舞鶴港振興会との連携により、効果的なクルーズ誘致、ポートセールスを実施することにより、目標数を上回るクルーズ船寄港を実現した。また、コンテナ取扱数については過去最高となった昨年には届かないものの、一定の取扱数の確保を図ることができた。</p>
	<p>住民の自治意識を高める成果</p>	
	<p>リーディング・モデル成果</p>	<p>日本遺産に認定された赤れんが倉庫群をはじめとする近代化遺産の「歴史」と、海軍ゆかりの「食」が織りなす舞鶴ならではの魅力を活かした独自の観光戦略を展開することができた。</p>
	<p>広域的波及成果</p>	<p>クルーズ船寄港回数増により、京都府北部地域・京都市内等への観光客増に成果があった。また、コンテナ年間取扱量も順調に増加しており、京都舞鶴港の利用促進により、京都府北部地域の産業振興にも一定効果があったと考えられる。</p>
	<p>行財政改革に資する成果</p>	
	<p>その他の成果</p>	

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。